

図画工作科学習指導案

期 間 平成17年10月20日(木)～

平成17年11月24日(木)

場 所 六合村立入山小学校 5年教室・図工室

学 年 第5学年 指導者 荒木 孝史

題材名 「いろ・色はんを重ねてすって - 美しい形や色の組合せを考えよう - 」

考 察

1 子どもの実態

製作の様子を見ると、子どもたちは、楽しく絵を描いたり、工作をしたりすることができ、熱心に作品をつくる姿が見られる。製作を通して、自分の思いを膨らませながら表現することに没頭できている。

作品をつくり終えたあとの感想を聞くと、「楽しかった。」や「よくできた。」など、自分の作品ができたことへの満足感や成就感が伝わる言葉が多く見受けられる。また、技能に関わる意見、例えば「細かなところまでかけた。」「のこぎりで切るのが難しかった。」などがある。しかし、どのような形や色を使って表わしたかやどのような美しさを表わせたかなどにつながる意見は少ない。

このような実態から、子どもたちは、造形活動への関心や表現の意欲をもち学習しており、思いを作品に表わすための工夫や技能に目を向けていることが分かる。しかし、どんな形や色を使って表わしたかやどのような美しさを表わせたかなど、構想する過程に関心を向けることは少ないのではないかと考えられる。

これまで見てきた子どもたちの作品づくりの様子から、次のような特徴を見ることができる。

見通しをもち、試行錯誤をくり返ししながら製作する子ども。製作の開始から完成までの構想をもち、工夫を加えながら製作する。

製作を進めながら構想を深める子ども。試行錯誤をくり返ししながら徐々に構想を固め完成に向かう。

試行錯誤することが少ない子ども。製作の見通しをもつと、あまり試行することなく製作を進める。

考えることに時間をかける子ども。机に向かったまま考え込むことが多く、あまり試行することなく製作を進める。

このような作品づくりの様子から、子どもにより、構想の仕方や深まり具合、試行活動の取組方に違いがあることが分かる。

どのような表現ができるかを試し、表現の結果を確かめながら作品をつくることのできるようになるため、学習過程ごとのねらいを明らかにし、課題を解決するための試行錯誤をくり返せるようにする必要があると考える。

2 題材の考察

多くの子どもたちは、絵を描いたり、工作をしたりといった表現活動に大変興味を示し、図工の授業を楽しみにしている。また、自分の思いを作品に表わすことにとっても熱心である。

しかし一方で、子どもたちの学習状況から、表現の深まりやその子らしさが表れるような表現の広がりが見られず、同じような作品づくりをしているととらえている教師が少なくない。

「興味をもち意欲的に取り組むが、表現が深まらない、広がらない」原因として構想を練ることの不足が考えられる。子どもたちは、自分の思いをどう表現していくか十分な見通しをもたないまま作品づくりを進めているのではないだろうか。

そこで、子どもたちが作品づくりへの課題を明らかにし、見通しをもって自分の表現を追求していくことができるようになるために、構想を練り、試行錯誤をくり返ししながら作品をつくり上げていくことができる題材を考えた。

この題材では、多版多色による版画表現の方法を用いる。多版多色による版画は、それぞれの版の形や色を塗り重ねていくことで表現する方法である。この表現方法を用いることで、自分の思いを表すのにどのような図柄を塗り重ねていくか、塗り重ねたときの様子を思い浮かべながら、版ごとの図柄の形や色、その組合せについて考えを巡らせることができ、形や色の組合せに目を向けた表現活動を進めるのに適していると考えられる。

版画の表現は、下絵づくり、彫り、刷りと製作の段階がはっきりとしている。そのため、自分の作品づくりの課題に合わせ、図案、彫り方、刷り方それぞれに課題の解決を図るための工夫を考え、試すことができる。

また、学習の主題を「美しい形や色の組合せを考えよう」とすることで、子どもは学習の過程を通じて形と色、その組合せに目を向けることになる。このことにより、子どもは、自分がどのような形や色の組合せを美しいと感じるかについて考えを巡らせながら、自分が美しさをどうとらえたか確かめていくことができる。

このように、この題材は、版画の表現方法を用いることで、子どもが自分の思いに合う形や色の組合せを見付けることに向かうことになり、学習活動を通じて、美しい形や色について考えを巡らせ、作品づくりの課題をつかみ、試行錯誤をくり返ししながら自分の表現を追求できる題材と考えられる。

3 題材に関わる系統性

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
構想する力の向上に関する系統	表わしたいことを進んで見付け、好きな色を選んだり、いろんな形を考えるなどしながら、思いのままに表す。	表わしたいことを表わすために、形や色、材料などを生かし、それらの組合せの感じに関心を持ち、美しさや用途など考え、計画を立てるなど工夫して表す。	表わしたいことを表わすために、形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、つくるものの用途などを考えとともに、表し方を構想し、創造的な技能などを生かして表現する。
版画題材に関する系統	1年「ペタペタ ペットン」好きな形や色を選んで、楽しく絵にする。 2年「うつして うつして」好きな形や色を選んで、楽しく絵にする。	3年「広がれ生きものワールド」版の大きさや置き方、材料などを工夫して版に表す。 4年「すって、重ねて、組み合わせ - ローラー転写と木版画を楽しもう - 」形や色の組合せの感じに関心を持ち、偶然のおもしろさを楽しみながら感じたことを版に表す。	5年「いろ・色はんを重ねてすって - 美しい形や色の組合せを考えよう - 」形や色の組合せの美しさについて考え、自分が思い描いた美しい形や色の組合せを版画に表す。 6年「色を選んで木版で表すと」白黒の対比、色の置き方を考え、彫りや刷りの効果を確かめながら工夫して表す。

4 指導方針

この題材の指導にあたっては、子どもたちが、自分の表現を追求できるように、自分の作品をつくるときの課題を明らかにし、試行錯誤をくり返ししながら課題解決を図ることができるようにしたい。

学習のめあてとして、子どもたちが「どのような形や色を使うかを考える」「製作の方法や手順を確かめ、見通しをもち製作する」「表わしたい美しさが表現できているか確かめる」ことができるようにする。

題材に出会う過程では、形や色の構成が特徴的なパウル・クレーの作品を鑑賞し、お互いに意見を交換することで形や色の組合せの美しさについて考えることができるようにする。

みんなで試す過程では、子どもたちが、自分の作品をつくるときの課題をつかむことができるように、みんなで試す学習「ためしてみよう」を取り入れ、グループで一つの作品をつくる。作品をつくるにあたっては、まず、グループでどのような作品をつくるか形や色の組合せを考え話し合う。次に、実際に試しの作品をつくりながら、いろいろの形や色の組合せ方や表し方を試してみる。最後に、出来上がった作品を見て、どのような表現ができるかを確かめ、お互いに意見を交換する学習を進める。

自分の作品をつくる過程では、自らの課題を確かめながら作品を製作する。そこで、はじめに自分の作品をつくる際の課題を書き出す。製作にあたる授業のはじめに課題を見直す時間を設け、自分のたてた課題と実際の仕上がりの様子を比べながら製作できるようにする。また、課題を解決するためにくり返し作品を刷ったり、製作の途中で彫りを直したりできるように、机や材料、用具の配置を工夫する。

学習をふり返る過程では、試した組合せや自分の思いに合った組合せ、製作の詳しい様子、自分の表わしたかった美しさについて確かめ、確かめたことを文に表わしたり、意見を交換したりすることにより学習の成果を実感することで、自分がどのような美しさをどのように表してきたか分かるようにする。

目 標

自分が思い描いた美しい形や色の組合せを版画に表す。

評価規準

おおむね満足できる状況	十分満足できる状況
【造形への関心・意欲・態度】	
・形や色を組み合わせながら、自分の思いを版に表す楽しさを味わおうとする。	・形や色の組合せを工夫することで、自分の思いを自在に表現できることに関心を示し、試すことに意欲をもつ。
【発想や構想の能力】	
・自分の表したい作品のイメージをもち、形や色の組合せ方を考える。	・形や色の組合せ方を変えたときの様子の違いを比べながら、形や色の組合せ方を考える。
【創造的な技能】	
・用具の使い方を確かめ、彫り方、刷り方を試し、直しを加えるなどして表す。	・自分の思いを効果的に表現するためのいくつかの方法を見付け、試すなどして表す。
【鑑賞の能力】	
・参考作品や自分の作品を見て、自分が感じた美しさについて言葉にする。	・参考作品や自分の作品の比較をもとに色の特徴や様子について言葉にする。

指導計画（全12時間予定）

学習 過程	時 間	主な学習活動（ ） ねらい：学習のねらい	具体的な評価規準（抜粋） □は観点の別、<>は評価方法	支援及び指導の留意点 ：研究上の手だて
題材 に出 会う	1	<p>題材の学習テーマについて知る。</p> <p>学習テーマ：美しい形や色の組合せを考えよう</p> <p>参考作品を鑑賞し、作品のなかに見られる美しい形や色の組合せを見付ける。</p> <p>鑑賞のねらい：クレーさんの作品をみて、美しい形や色の組合せを見付けてみよう</p>	<p>関・意・態 作品に興味を示し美しい形や色を見付けようとする。</p> <p>鑑賞 形や色の特徴や様子について感じたことや見付けたことを言葉にする。</p> <p><活動の様子・発言内容></p>	<p>・美しい形や色の組合せについて考えることを中心に作品づくりを進めていくことを伝える。</p> <p>・形や色の組合せの美しさや面白さを感じ易い作品を用意し、形や色の組合せの美しさや面白さに着目した発見や意見交換ができるようにする。</p>
みんな で 試 す	3	<p>【見通し1】みんなで試す学習「ためしてみよう」</p> <p>課題をたてる グループで、どのような形や色の組合せを試してみたいか話し合い、作品づくりの課題をもつ。</p> <p>話し合いのねらい：型紙や版画インクの色をもとに美しい形や色の組合せを考え、試してみたい組合せを決めよう</p> <p>試してみる 製作の手順を確かめながら、話し合っただけ決めたことをもとに、グループで版画をつくる。</p> <p>製作のねらい：重ねずりの技法や製作の手順をたしかめながら、試してみよう</p>	<p>関・意・態 試してみたい組合せについて話し合い、製作への意欲をもつ。</p> <p>発想・構想 試してみたい組合せを考える。</p> <p><活動の様子・発言内容></p> <p>関・意・態 作品の仕上がりに気を配り作品をつくらうとする。</p> <p>技能 刷り上がりの様子を確認しながらいくつかの組合せを試す。</p> <p><活動の様子・発言内容・製作した版画></p>	<p>グループで試しの作品をつくることを伝え、版画の製作をとおして、美しい形や色の組合せについて考えられるようにする。</p> <p>・円や三角形などの図形を印刷した型紙を用意し、短い時間で組合せを決め、製作を進められるようにする。</p> <p>・製作の手順を掲示し、製作の流れを確認しながら進めることで、製作の見通しがもてるようにする。</p> <p>刷り上がりの様子を確認しながら試しの作品をつくることで、表現の仕方を探ることができるようにする。</p>

	<p>結果を確かめる 作品をみて感じたこと、考えたことについて意見を交換し、自分の考えを確かめる。</p> <p>意見交換のねらい：完成した作品をみて見つけた美しさについて、みんなで伝え合い、自分の考えをたしかめよう</p>	<p>関・意・態 作品を見て見つけた美しさについて話し合おうとする。</p> <p>発想・構想 形や色を組み合わせたときの特徴や様子の違いなどを確かめる。</p> <p><活動の様子・発言内容・製作した版画></p>	<p>製作を振り返りグループで意見交換をすることで、表現の仕方や効果について確かめられるようにする。</p> <p>気に入った作品を見付けたり、考えを発表したりすることで、作品づくりへの課題をつかめるようにする。</p>
自分の作品をつくる	<p>【見通し2】自分の課題を確かめ作品をつくる</p> <p>課題をたてる どのような美しさや感じの作品にしたいか考え、自分が表したい美しさを表すための形や色の組合せを決める。</p> <p>試してみる 色の組合せや重ねる順序を変えるなど試行錯誤をくり返しながら版画を製作し、自分の思いにあった表現を追求する。</p> <p>結果を確かめる 作品の刷り上がりをみてどのような表現の効果が得られたか確かめ、自分の思いに合った表現を見付ける。</p> <p>製作のねらい：美しい形や色の組合せを考え、いくつかの組合せを試しながら、自分の思いに合った作品をつくり上げよう</p>	<p>関・意・態 自分の思いに合った作品を製作できるようにいくつかの組合せを試そうとする。</p> <p>発想・構想 刷り上がりの様子を確かめながら、色の組合せや重ねる順序、形の重なり方（版の置き方）を考える。</p> <p>技能 刷り上がりの様子を確かめた結果をもとに、彫りを直したり、刷り方を変えたりするなどして表す。</p> <p><活動の様子・学習メモ・製作した版画></p>	<p>自分の作品をつくるときの課題を書くことで、自らの課題を確かめることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに版ごとに形を分け考えたとき、版をすべて組み合わせた形から考えたときの違いを示し、版の分割について分かるようにする。 ・課題を見直す時間を設け、自分の立てた課題と実際の仕上がりを比べながら製作できるようにする。 ・机や材料、用具の配置を工夫し、製作途中で彫りを直したり、くり返し作品が刷れるようにする。 ・自分の思いに合った作品を選び、結果を確かめられるようにする。
学習を振り返る	<p>学習をとおして考えたことや取り組んだことを文にまとめたり、友達に話したりして、学習テーマについての自分の考えを確かめる。</p> <p>まとめのねらい：学習をふり返り、美しい形や色の組合せについて自分の考えたことをたしかめよう</p>	<p>発想・構想 美しい形や色の組合せについて自分の考えや取組を言葉にし確かめる。</p> <p>鑑賞 作品の良さや美しさを自分の言葉で表す。</p> <p><学習プリント・発言内容></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りのポイントを示した学習プリントを用意し、美しい形や色の組合せについて自分の考えを確かめることができるようにする。 ・作品と自分の考えを発表できる場を設け、人に伝えることで自分の考えを確かめられるようにする。

本時の学習

1 第1・2時の学習 10月20日（木）1・2校時

- (1) ねらい・クレーの作品を鑑賞し、作品のなかに見られる美しい形や色の組合せを見付ける。
 - ・型紙と版画インクの色をもとに美しい形や色の組合せを考え、試してみたい組合せを決め、重ね刷りの技法や製作の手順を確かめながら、版の彫りを進める。
- (2) 準備 教師 版木（ハガキ大3枚×4組）、型紙、版画インク、色刷り見本、カーボン紙
子ども 彫刻刀
- (3) 展開

学習過程	時間	形態	ねらい ・主な学習活動	指導上の留意点 ：研究上の手だて ：配慮を要する子どもへの支援	具体的な評価規準 <評価方法>
題材に出会	1 5 分	全	・題材について知る。	学習テーマ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"> 美しい形や色の組合せを考えよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習テーマを提示し、美しい形や色、その組合せについて考えることを中心に作品づくりを進めることを伝える。 	

う	30分	<p>全 クレーの作品を鑑賞し、作品のなかに見られる美しい形や色の組合せを見付ける。</p> <p>・ 作品を鑑賞し、形や色の美しさについて感じたことや考えたことを語り合う。</p>	<p>鑑賞のテーマ</p> <p>クレーさんの作品をみて、美しい形や色の組合せを見付けてみよう。</p> <p>はじめに作品鑑賞を通して、作品のなかに見られる美しい形や色を見付けることから学習を進める。</p> <p>・ 鑑賞する作品は、形や色の組合せの美しさや楽しさ、おもしろさを感じやすい作品を用意する。</p> <p>[鑑賞する作品] パウル・クレー作の4点を鑑賞する。</p> <p>「にぎわう港」  「青の上の果実」 </p> <p>「透かし絵のある紙」  「赤いまなざし」 </p> <p>作品は「現代世界美術全集」(集英社刊)の図版 < 板書 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>鑑賞のポイント</p> <p>どんな形や色が見えるか？</p> <p>何がかかれていると思うか？</p> <p>どんな感じがするか？</p> <p>美しいと思う形や色の組合せを見付けられるか？</p> </div> <p>作品に形や色の組合せの美しさや面白さを感じ取れるか、あるいは、どのような組合せから感じ取れるかに着目した意見交換ができるように話し合いを進める。</p> <p>考えがまとまらなくても、気付いたこと、思い付いたことから自由に発言できるようにし、つぶやきを拾い上げられるように心掛ける。</p> <p>いろいろな見方、感じ方ができることを伝え、いろいろな意見が出てくることを奨励する。</p> <p>・ 鑑賞の最後に、出てきた意見についてまとめ、意見交換の成果を認める。</p>	<p>関・意・態</p> <p>・ 作品に興味を示し、美しい形や色を見付けようとする。 < 活動の様子 ></p> <p>鑑賞</p> <p>・ 形や色の特徴や様子について感じたことや見付けたことを言葉にする。 < 発言内容 ></p>
10分		<p>・ 次の学習の見通しをもつ。</p>	<p>みんなで試行する学習「ためしてみよう」の取組について説明する。</p> <p>< 板書 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ためしてみよう</p> <p>- 版画でどんな美しさを表わすことができるか試してみよう -</p> <p>課題をつかむ 美しい形や色の組合せを考え、試してみたい組合せを見付ける。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ためしてみる 組み合わせてみたい形を3枚の版木それぞれに分けて彫り、色の組合せや重ねる順序や位置を変えて、重ね刷りをする。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>結果を確かめる 完成した版画をみて、どんなところに、どんな美しさが見られるか、自分の考えを出し合う。</p> </div>	

(休憩 5分)

みんな
で
試
す

20分

グループ

た め し て み よ う

話し合いのテーマ

課題をたてる

型紙と版画インクの色をもとに美しい形や色の組合せを考え、ためしてみたい組合せを決める。

・試してみたい形や色の組合せについて話し合う。

型紙と版画インクの色をもとに美しい形や色の組合せを考え、試してみたい組合せを決めよう。

・話し合いのテーマに沿って、自分たちで試してみたい形や色の組合せについて、グループごとに話し合うように伝える。

- 製作の内容 -

多版多色の木版画をつくる。

版画には、3枚の版を用意し、それぞれの版に別々の形を彫り、色をつけ、重ねて刷り版画にする。

はじめに、重ねる形、色を決める。形は、円・四角形・三角形などの形を印刷した型紙を用意し、型紙のなかから選ぶ。色は、版画インク7色(赤、青、緑、黄、朱、茶、黒)のなかから選ぶ。

次に、版木(八ガキ大14.8×10.0^{cm})にそれぞれ形を写し、彫るところ、残すところを確かめ、彫刻刀で彫る。

版ごとに色を変え、重ね刷りをする。重ねる色、重ねる順序、形の重なり方(版の置き方)などを変えながら数枚の版画を刷り上げる。

色の組合せを複数組み考え、決めるように伝え、いくつかの組合せを試し、比べることができるようにする。

< 掲示資料 >

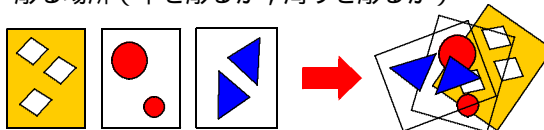
発言の少ない子どもに言葉をかけ、自分が試してみたい

話し合いで決めること

形(位置、数、むき)

色(3色の組合せ、重ねる順序)

彫る場所(中を彫るか、周りを彫るか)



重ねたときの様子を思い浮かべながら組合せを考える

と思う組合せを考えられるようにする。

関・意・態

・試してみたい組合せについて話し合い、製作への意欲をもつ。

< 活動の様子 >

発想・構想

・試してみたい組合せを考える。

< 活動の様子 >

20分

全

試してみる

製作の手順を確かめ、下絵に合わせて版の彫りを進める。

製作のテーマ

重ねずりの技法や製作の手順をたしかめながら、試してみよう。

・製作の手順を示し、重ね刷りの方法や手順を確かめながら、試しの製作を進めるよう伝える。

関・意・態

・製作の手順に沿ってけがをしないように安全に気を配りながら製作を楽しもうとする。

< 活動の様子 >

	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の手順を知る。 ・カーボン紙で版木に下絵を写す。 ・版木の彫りを進める。 	<p>< 板書 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>製作の手順</p> <p>1. カーボン紙を使い、版木に図がらを写す 注) 図がらは、さかさまに刷り上がります。 向きに注意!!</p> <p>2. どこを彫るか確かめながら、彫刻刀で図がらを彫る。 注) あまり深く彫りすぎないようにしましょう。 注) 自分の手、周りの人の様子に気を配りましょう。 けがに注意!!</p> <p>3. 重ねる順序に気をつけて、刷り紙に刷る。 注) パレットの上でインクをよくのばします。 つけすぎに注意!!</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・版木の上に、カーボン紙、選んだ型紙を重ね、型紙の形をそのままざり、下絵を写すよう指示する。 ・版木に写した下絵の様子を確かめながら子どもに声をかけ、彫るところ、残すところをよく確かめ彫り進められるようにする。 製作の様子から一人一人の彫刻刀の使い方を確認し、必要に応じて安全な使い方の指導を行う。 	<p>発想・構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作の手順を確かめめる。 < 活動の様子 > <p>技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下絵に合わせ彫るところと残すところを確かめて彫り進める。 < 活動の様子、版木 > 技能 ・彫刻刀を正しく安全に使う。 < 活動の様子 >
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習について知る。 ・片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、「ためしてみよう」後半の学習、版画の刷りと結果の確かめを進めることを伝える。 	

2 第3・4時の学習 10月27日(木) 1・2校時

(1) ねらい・話し合っで決めた課題をもとに、製作の手順を確かめながら刷る。

・形や色を組合せたときの特徴や様子の違いについて、意見を交換し、感じたことや考えたことを確かめる。

(2) 準備 教師 刷り紙、各グループの版木、版画用具一式、新聞紙

(3) 展開

学習過程	時間	形態	ねらい ・主な学習活動	指導上の留意点 : 研究上の手だて : 配慮を要する子どもへの支援	具体的な評価規準 < 評価方法 >
みんなです	3分60分	グループ	<p>試してみる</p> <p>話し合っで決めた課題をもとに、製作の手順を確かめながら版画を刷る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作の手順を確認する。 ・グループごとに刷りを進める。 	<p>製作のテーマ</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>重ねずりの技法や製作の手順を確かめながら、試してみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習をふり返るとともに、刷り方を中心に製作の手順を確認する。 ・グループで協力して整然と作業が進められるようにするために、作業の流れを確認する。 ・用具の配置や作業位置を工夫し、刷りの作業がスムーズに進められるようにする。 いくつかの組合せを試すよう促し、刷り重ねたときの色の感じや版を置いた位置、インクのつき加減など刷り上がりの様子を確認、色の組合せや重ねる順序、版の置き方を考えられるようにする。 	<p>関・意・態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の仕上がりに気を配り作品をつくらうとする。 < 活動の様子 > 発想・構想 ・製作の手順を確かめながら製作する。 < 活動の様子 > 技能 ・インクの加減やパレットの使い方に気をつけて刷る。 < 活動の様子 > 技能

		<p>インクの量や練り加減、パレンの使い方などを確認し、必要に応じて使い方を指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で協力して片付けられるようにする。(休憩 5分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・刷り上がりの様子を確かめながらいくつかの組合せを試す。 <p><活動の様子、製作した版画></p>
4 20 分	<p>結果を確かめる</p> <p>グループ 形や色を組合せたときの特徴や様子の違いについて意見を交換し、感じたことや考えたことを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがつくった作品を見ながら、意見を交換する。 	<p>意見交換のテーマ</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>完成した作品をみて見付けた美しさについて、みんなで伝え合い、自分の考えをたしかめよう。</p> </div> <p>形や色を組み合わせた結果できあがった作品から見付けられる美しさについて感じたことや考えたことをグループの人たちに伝えたり、他の人の気づきや発見を確かめてみたりするように伝え、美しい形や色の組合せについて自分が考えたことを確かめられるようにする。</p> <p><板書></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>意見交かんのポイント</p> <p>美しいと思う形や色の組合せを見付けられたか？ それはどんな形や色の組合せか？ そこからどんな感じがするか？ もっとよくするにはどうすればいいと思うか？</p> </div> <p>作品同士を比べたり、じっくり眺めたりするように促し、刷り上げた作品を見て、よいところを見付けられるようにする。</p> <p>話題の提供や指名をするなどして、発言する機会ができるようにし、意見を認めていく。</p> <p>グループの作品のなかで最も気に入った作品をについて聞き、どこに良さを感じているか確かめられるようにする。</p>	<p>関・意・態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した作品を見て見付けた美しさについて話し合おうとする。 <p><活動の様子></p> <p>発想・構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色を組合せたときの特徴や様子の違いなどを確かめる。 <p><活動の様子、発言内容></p>
10 分	<p>全 ・他のグループの人たちに自分たちの作品を紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を黒板に掲示し、黒板の周りにイスを持って集まるよう指示し、発表したグループの人たちがどのような作品をつくったのか、作品をよく見ながら話が聞けるようにする。 ・発表が終わった後に、感想や意見を募り、いろいろな見方や考え方があることに気付けるようにする。 	

3 第5・6時の学習 11月1日(火) 1・2校時

(1) ねらい・自分が表したい美しい形や色の組合せを決め、色ごとに形を3つの版に分ける。

・彫るところ、残すところの別に気をつけて、版木を彫る。

(2) 準備 教師 版木(Q判(30×22.5cm)3枚×16組) アイディアスケッチ用の用紙(A4判、B4判の用紙)、下絵用の用紙(Q判22.5×30.0㍉の枠を印刷したもの)、カーボン紙、版画彫刻用作業板(16台)

子ども 彫刻刀、色鉛筆またはクレヨン

(3) 展開

学習 過程	時 間	形 態	ねらい ・主な学習活動	指導上の留意点 : 研究上の手だて : 配慮を要する子どもへの支援	具体的な評価規準 <評価方法>

自分
の
作
品
を
つ
く
る

5
人

課題をたてる
自分が表した
美しい形や色
の組合せを決
め、色ごとに形
を3つの版に分
ける。
・製作の内容を
確かめる。

製作のテーマ

美しい形や色の組合せを考え、いくつかの組合せを試しながら、自分の思いに合った作品をつくり上げよう。

・自分が美しいと思う形や色の組合せを作品に表すことを伝え、作品づくりへの意欲を高める。

- 製作の内容 -

自分の作品をつくる過程では、自分が美しいと思う形や色の組合せを見付け、作品に表す。

作品は3枚の版を重ねて版画に表す。はじめに重ねる形や色を決める。形は、身近に見られるものの形や幾何学模様、自分が思い描いたものなど、自分の思いに合った形を見付ける。色は、版画インク7色(赤、青、緑、黄、朱、茶、黒)のなかから組合せを考える。

3枚の版木(Q判22.5×30.0[㍉])にカーボン紙を使うなどして下絵を写す。彫るところ、残すところを確かめながら彫刻刀で彫る。色の組合せや重ねる順序を確かめ版を重ねる。

刷り上がりの様子を確認、自分の思いに合った作品になるように、重ねる色、重ねる順序、形の重なり方(版の置き方)など組合せ方に変化や修正を加えながら、複数枚の版画を刷り上げる。

・自分が表した
美しい形や色の組合
せを考える。

「ためしてみよう」での学習を思い起こしながら自分の課題を書き出すように話し、自分の作品をつくる時の課題を確かめることができるようにする。

< 板書 >

課題をたてるポイント

どんな美しさを作品にしたいか？

どんな感じのする作品にしたいか？

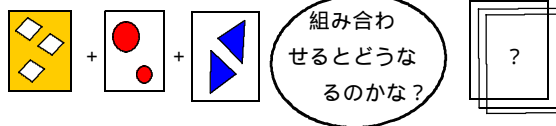
それはどんな形や色を組合せれば表わせそうか？

・形は、身近に見られるものの形や円、四角形、三角形などの図形、自分で考え出したデザインなどが考えられることを話し、自分の思いに最も合う形を考え出すことができるようにする。

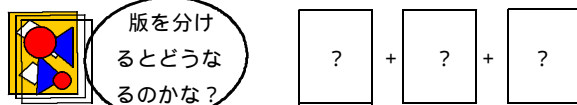
・版に分けるときのそれぞれの要点が分かるような説明をし、形の組合せについて考えることができるようにする。

< 掲示資料 >

版ごとに形を分けて考えはじめたら・・・



版を全て組み合わせた形から考えはじめたら・・・



・アイディアス
・アイディアスケッチや下絵をかくときに色鉛筆やクレヨ

関・意・態

・アイディアスケッチや下絵をかくなどしながら、美しい形や色の組合せを見付けようとしている。
< 活動の様子 >

発想・構想

・自分の作品をつくる時の課題を書き出し、自分の課題を確かめる。
< 活動の様子、下絵 >

発想・構想

・色ごとに形を3つの版に分けることができる。
< 活動の様子、版木 >

	<p>ケッチをもとに下絵をかく。</p> <p>・カーボン紙を使い、下絵を版木に写す。</p>	<p>ンを使い色分けをするなどの方法があることを話し、版の違いが分かるような工夫ができるようにする。</p> <p>・形の組合せが決まったら、下絵用の用紙に形をかくよう話し、版にしたときの大きさ、版木の上の位置、彫るところ、残すところの違いなどを確かめられるようにする。</p> <p>・下絵の裏表を確かめ下絵を版に写すように話し、刷り上がったときに図柄が反転することを理解できるようにする。形を反転して転写したい場合は、下絵を裏返して写すことができることを伝え、方法を教える。</p> <p>(休憩 5分)</p>	
	<p>試してみる</p> <p>彫るところ、残すところの別に気をつけて、版木を彫る。</p> <p>・彫るところ、残すところを確かめる。</p> <p>・安全に気を配りながら彫る。</p> <p>・片付ける。</p>	<p>・彫るところ、残すところをよく確かめ彫り進めるように言葉がけをし、色がのるところ、のらないところの違いをイメージできるようにする。</p> <p>彫るところ、残すところのどちらかに色を塗るなどして確かめるように促し、見た目の違いをとらえることができるようにする。</p> <p>・わずかな凹凸でも版画は刷れることを伝え、あまり深く彫りすぎないように気を付けられるようにする。</p> <p>・版画彫刻用の作業板を用意し、製作に利用できるようにしておく。また、必要に応じ、使い方を指導する。</p> <p>一人一人の彫刻刀の使い方を確認し、必要に応じて安全な使い方を指導する。</p>	<p>関・意・態</p> <p>・下絵に合わせ丁寧に彫ろうとしている。</p> <p><活動の様子></p> <p>技能</p> <p>・彫るところ、残すところを確かめ、下絵に合わせて、安全に彫る。</p> <p><活動の様子、版木></p>

4 第7・8時の学習 11月10日(木)1・2校時

(1) ねらい・彫るところ、残すところの別に気をつけて、版木を彫る。

・色の組合せや重ねる順序、形の重なり方(版の置き方)を考えながら、版画を刷る。

(2) 準備 教師 版木(Q判(30×22.5cm)3枚×16組)、版画彫刻用作業板(16台)、版画用具、版画インク、版画用紙

子ども 彫刻刀

(3) 展開

学習過程	時間	形態 ねらい ・主な学習活動	指導上の留意点 : 研究上の手だて : 配慮を要する子どもへの支援	具体的評価規準 <評価方法>
自分分の作品をつくる	7 45分	<p>試してみる</p> <p>彫るところ、残すところの別に気をつけて、版木を彫る。</p> <p>・彫るところ、残すところ、彫り方を確かめる。</p> <p>・安全に気を配りながら下絵に合わせて彫る。</p>	<p>製作のテーマ</p> <p>美しい形や色の組合せを考え、いくつかの組合せを試しながら、自分の思いに合った作品をつくり上げよう。</p> <p>版を見て、自分の考えたとおりに彫るところ、残すところを分けて彫り進めることができているかを確かめてから彫りはじめるように話し、刷り上がりの様子を思い描きながら見通しをもって彫り進められるようにする。</p> <p><板書></p> <p>たしかめるポイント</p> <p>どこを彫り、どこを残すか どの彫刻刀を使って彫るか どんな彫り方にするか(彫りあと、彫る方向)</p>	<p>関・意・態</p> <p>・下絵に合わせ丁寧に彫ろうとしている。</p> <p><活動の様子></p> <p>発想・構想</p> <p>・彫るところ、残すところを確かめ、見通しをもって彫る。</p> <p><活動の様子、版木></p> <p>技能</p> <p>・下絵に合わせ、安全に彫り進める。</p> <p><活動の様子、版木></p>

		<p>版を刷ったあと彫りを修正することができることや刷ってみないと分からないところは、彫りを控えめにしておくことを話し、刷り上がりを見てから彫り直しができることが分かるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版画彫刻用の作業板を用意し、製作に利用できるようにしておく。また、必要に応じ、使い方を指導する。(前時に同じ) 一人一人の彫刻刀の使い方を確認し、必要に応じて安全な使い方を指導する。(前時に同じ) ・版木を彫り終わったら、道具や木くずの片付けをし、刷りの準備を進めるよう指示する。 ・彫りが早く終わったら、図工室で版画を刷る準備をし、グループを組める人数が集まり次第刷りはじめるように指示し、進度に合わせて製作を進めることができるようにする。 <p>(休憩 5分)</p>	
<p>8 45 分</p>	<p>グ ル ー プ (任 意)</p> <p>色の組合せや重ねる順序、形の重なり方(版の置き方)を考えながら、版画を刷る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3～4人のグループを組み版画を刷る。 ・組み合わせる色の用意ができているか、版を刷るときの版木の順序、版を見当紙の上に置くときの位置などを確かめながら版画を刷る。 ・刷り上がった作品に製作番号をつける。 ・刷り上がりの様子を見て、必要に応じ彫りを直す。 	<p>まず自分の考えた組合せを試し、刷り上がりの様子を見て、色の組合せや重ねる順序を変えるなどしながら製作するように伝え、実際の刷り上がりを見て、自分の思いに合った美しさを見付けていけるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>- 刷りの作業 -</p> <p>刷りの作業は、製作進度の近い者同士3～4名でグループを作り、一緒に製作を進めるようにする。</p> <p>作業は、「ためしてみよう」で行ったように、グループで役割を分担しながら進める。</p> <p>自分の作品を刷るときは、色の指定、インクや版木、紙の準備などをグループのメンバーに指示し、グループの中心になり製作を進める。役割を交代しながら、グループ全員の作品を製作する。</p> <p>使用する版画用紙は、八つ切(27×39cm)と四つ切(39×54cm)のものを用いる。一人8～10枚程度刷れるように準備しておく。</p> <p>3枚の版をそろえて刷るときは、八つ切りの用紙、版をずらして刷るときは、主に四つ切りの用紙を使う。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・用具の配置や作業位置は、「ためしてみよう」のときと同じように設け、刷りの作業がスムーズに進められるようにする。 グループごとに作業の様子を見て、適切な道具の扱いや刷りができているか確かめ、必要に応じてインクのつけ方やパレンの使い方などを指導する。 刷り上がった作品に番号をつけ、製作した順番が分かるようにしておくことを指示し、学習をふり返るとき、自分の思いに合った作品をつくり上げるために、色の組合せや重ね方を変えるなど、どのような作品づくりを進めてきたか思い起こせるようにする。 必要があれば彫り直しができることを話し、自分の作品の刷り上がりを見て、彫り直しが必要か判断できるようにする。 ・彫りを直すときは、版に付いたインクをよく拭き取り作業すること、グループの人に直しのために刷りの作業から離れることを伝えてからはじめるように指示する。(欠員 	<p><u>関・意・態</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いに合った作品を製作できるようにいくつかの組合せを試そうとする。 <p><活動の様子></p> <p><u>発想・構想</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刷り上がりの様子を確かめながら、色の組合せや重ねる順序、形の重なり方(版の置き方)を考える。 <p><活動の様子、製作した版画></p> <p><u>技能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刷り上がりの様子を確かめた結果をもとに、彫りを直したり、刷り方を変えたりするなどして表す。 <p><活動の様子、製作した版画></p>

			<p>の出たグループには、人数の多いグループから手伝いを頼むか、欠員が出たグループ同士を合わせ、刷りの作業が続けられるようにする。)</p> <p>・片付ける。 ・全員で協力して片付けられるようにする。</p>
--	--	--	---

5 第9・10時の学習 11月17日(木) 1・2校時

(1) ねらい・自分の作品をつくる課題やこれまでに刷った作品を見直し、どのような表現の効果が得られたかを確かめ、自分の思いに合う表現を見付ける。

・自分の思いに最も合う表現を見付けるための作品づくりを進める。

(2) 準備 教師 製作中の版木、版画用具、版画インク、版画用、紙版画彫刻用作業板(16台)
子ども 彫刻刀

(3) 展開

学習過程	時間	形態	ねらい ・主な学習活動	指導上の留意点 : 研究上の手だて : 配慮を要する子どもへの支援	具体的な評価規準 <評価方法>
自分の作品をつくる	9 10 90分	グループ(任意)	<p>結果を確かめる 自分の作品をつくる課題やこれまでに刷った作品を見直し、どのような表現の効果が得られたかを確かめ、自分の思いに合う表現を見付ける。</p> <p>・自分のたてた課題やこれまでに刷った作品を見直す。</p> <p>試してみる 自分の思いに最も合う表現を見付けるための作品づくりを進める。</p> <p>・一緒に版を刷る人(グループ)を確かめ、製作する。</p> <p>・作品に製作番号をつける。</p> <p>・刷り上がりの様子を見て、必要に応じ彫りを直す。</p> <p>・片付ける。</p>	<p>(第8時の学習(11月10日(木)2校時)の内容に同じ。) 製作のテーマ(継続)</p> <p>美しい形や色の組合せを考え、いくつかの組合せをためしながら、自分の思いに合った作品をつくり上げよう。</p> <p>はじめに自分のたてた課題(第5時)を見直す時間を設け、これまで製作を進めてきたなかで、変えたいと思ったところがあれば、課題を直しても構わないことを伝え、自分がたてた課題と実際の仕上がりの様子とを照らし合わせながら製作していけるようにする。</p> <p>- 予想される工夫 - 一枚の版に複数の色をのせて刷る。(のせる場所を変える場合と版の上で色を重ねる場合が考えられる。) 刷り終えたインクをふき取らずに、新たに別のインクをのせて刷る。 版の全体にインクをのせず一部にインクをのせて刷る。 のせたインクの一部をふき取るなどして刷る。 一枚の版を複数回使って刷る。 インクをパレット上で混色する工夫を上げてくることも予想されるが、題材では主に色を重ねたときに現れる変化の面白さを感じさせたいこと、設備と活動に当てる時間、場所などの都合から今回は行わないようにする。</p> <p>・刷り方を工夫したい子どもの考えを認め、いろいろな工夫を考え、試してみることができるようになる。 刷り上がった作品に番号をつけ、製作した順番が分かるようにしておくことを指示する。(前時に同じ) ・思うような効果が得られない場合は、版を彫り直すことで解決することもあることを話し、刷り上がりの様子や彫りの様子を見て、彫り直しが必要かを確かめ、判断できるようにする。 ・全員で協力して片付けられるようにする。</p>	<p>関・意・態 ・自分の思いに合った作品を製作できるように、いくつかの組合せを試そうとする。 <活動の様子></p> <p>発想・構想 ・刷り上がりの様子を確認しながら、色の組合せや重ねる順序、形の重なり方(版の置き方)を考える。 <活動の様子、製作した版画></p> <p>技能 ・刷り上がりの様子を確認した結果をもとに、彫りを直したり、刷り方を変えたりするなどして表す。 <活動の様子、製作した版画></p>

6 第11・12時の学習 11月24日(木) 1・2校時

(1) ねらい・これまでの製作をもとに、自分の思いに最も合う形や色の組合せによる版画を刷ることができる。

・学習をとおして考えたことや取り組んだことをまとめ、学級の人たちに伝えることで、美しい形や色の組合せについての自分の考えを確かめることができる。

(2) 準備 教師 学習プリント

子ども これまでに刷った作品

(3) 展開

学習過程	時間	形態	ねらい ・主な学習活動	指導上の留意点 : 研究上の手だて : 配慮を要する子どもへの支援	具体的な評価規準 <評価方法>
自分の作品をつくる	11分55分	グループ	<p>結果を確かめる</p> <p>これまでの製作をもとに、自分の思いに最も合う形や色の組合せによる版画を刷ることができる。</p> <p>・自分の思いに最も合う形や色の組合せを決め、仕上げの刷りをする。</p> <p>・片付け</p>	<p>製作のテーマ(継続)</p> <p>美しい形や色の組合せを考え、いくつかの組合せを試しながら、自分の思いに合った作品をつくり上げよう。</p> <p>これまでつくってきた組合せのなかで自分の思いに最も合う組合せを選び、同じ刷り方で仕上げの作品を刷るように指示し、どのような形や色の組合せが自分の思いに合っているか考え、判断することができるようにする。</p> <p>選択に迷う子どもには、自分がつくった版画を全て並べ、直接見比べてみることで、気に入った組合せを選ぶように言葉がけをする。</p> <p>納得のいく組合せが見つからない子どもには、子どもの考えを聞き出しながら、思いに合っているところと合っていないところを分けてとらえられるようにし、まだ試していない組合せを試すなど、時間まで納得のいく作品づくりが続けられるようにする。</p> <p>・全員で協力して片付けられるようにする。</p>	<p>関・意・態</p> <p>・自分の思いに合った作品を仕上げようとしている。</p> <p><活動の様子></p> <p>発想・構想</p> <p>・自分の思いに最も合う色の組合せや重ねる順序、形の重ね方(版の置き方)を決め、版画にする。</p> <p><活動の様子、製作した版画></p> <p>技能</p> <p>・自分の考えにしたがい、順序よく版を刷り重ねる。</p> <p><活動の様子、製作した版画></p>
学習を振り返る	12分15分	個人	<p>学習をとおして考えたことや取り組んだことをまとめ、学級の人たちに伝えることで、美しい形や色の組合せについての自分の考えを確かめることができる。</p> <p>・製作を振り返り美しい形や色の組合せについて自分の考えをまとめる。</p>	<p>まとめのテーマ</p> <p>学習を振り返り、美しい形や色の組合せについて自分の考えたことをたしかめよう。</p> <p>学習を通して考えたことや取り組んだことを文にまとめ、まとめたことをもとに自分の考えを学級の人たちに伝えられるようにし、美しい形や色の組合せについての自分の考えを確かめられるようにする。</p> <p>・学習を振り返るポイントを示し、学習を振り返りながら自分の考えや取組を文にまとめるようにする。</p> <p><板書及び学習プリントの記入項目></p> <p>学習を振り返るポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 どんな組合せを試してみたか振り返ってみよう 自分の思いに最も合った組合せをたしかめよう 2 どんな作り方をしたのか振り返ってみよう 苦心したところ、工夫したところはどこか思い出してみよう 3 どんな美しさを表すことができたか振り返ってみよう 表そうとした美しさが作品に表れているか、考えてみよう 4 「美しい形や色の組合せ」について、自分の考えを書こう 	<p>関・意・態</p> <p>・学習を振り返り自分の考えや取組をまとめ、学級の人たちに伝えることに意欲を示す。</p> <p><活動の様子></p> <p>発想・構想</p> <p>・美しい形や色の組合せについて自分の考えや取組を言葉にし確かめる。</p> <p><学習プリント、発言内容></p>

		<p>・記述用の学習プリントを用意し、配る。</p> <p>分かりやすいところから記述するように話し、まとまった文にできないときは、形や色について箇条書きで書くことを提案する。言葉が思い浮かばない子どもには、作品を見ながらポイントに関わる質問をし言葉を引き出すなど、子どもが自分の取組や考えを言葉にして確かめることができるように支援する。</p>	<p>鑑賞</p> <p>・作品の良さや美しさを自分の言葉で表す。</p> <p><学習プリント、発言内容></p>
15分	<p>全</p> <p>・自分の作品と考えを周りの人に伝える。</p> <p>・学級の人たちの発表を聞く。</p>	<p>自分の思いに最も合った作品を黒板に掲示し、作品について話す場を設けることで、自分がどのような表現を追求してきたのかを振り返り、確認できるようにする。</p> <p>・発表するときの例文を示し、共通の観点で話し、聞くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発表のしかた 例文</p> <p>「これが私の作品です。私は、～な美しさを表そう（作品をつくろう）と考えました。作品は、～と～を組み合わせさせて表現しました。」</p> <p>その他に発表してほしいこと</p> <p>苦心したところや工夫したところ</p> <p>表そうとした美しさを表わすことができたか</p> </div> <p><板書></p> <p>・他の人のよさを見付けたり、自分の考えや取組と比べたりしながら、発表を聞くように促し、他の人がどのような考えで取り組んできたのか、どのような作品をつくったのかなど興味をもって話を聞くことができるようにする。</p>	
5分	<p>個人</p> <p>・作品票をつくり作品に添えて提出する。</p>	<p>・「美しい形や色の組合せ」について自分の考え（「学習をふり返るポイント」の4）を書き込んだ作品票をつくることで、自分が学習をとおして得た考えや気付きを大切にできるようにする。</p>	